

# 金沢市立東浅川小学校

〔はじめに〕

本校は、医王山の麓に位置し、明治6年に湯ノ谷村立袋小学校として創設し、昭和32年金沢市立東浅川小学校として発足した。現在、全校児童数は31名、教職員数は9名である。

校区には金沢市を代表する河川、浅野川が流れており、金沢の奥座敷である湯涌温泉への路線は、ゆずの栽培がさかんで「ゆずの街道」と呼ばれている。自然が織りなす四季折々の表情を身近に感じることができる豊かな自然に恵まれた環境にある。

平成25年にユネスコスクールの認定を受け、東浅川の自然・伝統・文化を中心に、持続発展教育の実践に取り組んでいる。

## 東浅川に生きる

～「人・もの・こと」とのかかわりから～

### 1 ユネスコスクールとしての取組

#### 全校での取組

##### 「地域の文化の伝承」

本校では、毎年5月に東浅川公民館と合同開催される運動会において地域の方と共に、地域に伝わる「兵四郎節」を踊っている。運動会前に地域の「兵四郎節保存会」の方に来ていただき指導を受けている。兵四郎節は、辰巳用水作りに深く関わりを持った板屋兵四郎の偉業を後生に伝えていくために作られた地域の踊りである。振り付けの意味を教えていただくことで、当時の用水作りの工事がとても大変だったことを知る機会にもなっている。運動会だけでなく、地域の盆踊りや行事の際にも踊る機会があり、この兵四郎節が、地域との交流の一助となっている。

また、本校では、平成18年から「Asakawa 太鼓」にも取り組んでいる。平成24年には、オリジナル曲として「はばたけ浅川っ子～30の音色(ねいろ)～」を作り、毎年アレンジを加えながら継承している。地域の鉦子太鼓の指導者を招き、太鼓の基本を学ぶことから始め、秋の連合音楽会で披露している。全校児童を縦割り班(3グループ)で分け上級生が下級生を指導しながら練習を重ねることが、人間関係作りや全校のまとまりに大いに役立っている。

演奏を披露できる機会は、連合音楽会以外にも「犀川小学校のミュージックフェスタ」と「文化祭」の2回あるが、東浅川公民館との合同開催である文化祭では、地域の方から温かい拍手をいただくことで、地域の一員として、役立っていることを実感することができている。また、本校の伝統としての太鼓を伝承していく責任と誇りを感じることに役立っている。

##### 「地域の施設との交流活動」

本校では、毎年、地域にある「第二金沢朱鷺の苑」と「ふじの木寮」との交流活動として「ふれあいコンサート」を行っている。学校に来ていただく、または訪問する形で、音楽の授業で学習した歌や合奏を披露している。多くの方に楽しんでもらいたいという目標が、児童の学習意欲を高めている。また、全員でメッセージが入った手作りの葉を作成し交流の際に手渡しすることも、地域で生活している人々のことを考え、



相手を思いやる大切さを実感できる活動となっている。

### 各学年での取り組み



**1年生（生活科）**  
**「伝統遊びを体験」**

昔遊びを教えて頂ける地域の方を招いて、一緒に昔遊びを楽しんだ。

「年長さんを迎える会」では、学んだことを生かして、年長さんと交流した。



**2年生（生活科）**  
**「ぐんぐんそだてみんなのやさい」**

地域の畑の先生に教わりながら、野菜作りに挑戦した。

秋には穫れた野菜を使って1年生と共に野菜を使った料理作りに挑戦し、1年生と交流を深めた。



**3年生（総合）**  
**「和菓子を学ぶ」**

金沢で有名な和菓子についてテーマを決めて学んだ。

和菓子屋を訪問し、見学及び体験活動をすることで、自分のテーマについて考えを深めることができた。



**4年生（総合）**  
**「金沢の偉人」**

一人一人がテーマを決め、地域の偉人としての「板屋兵四郎」等について調べた。

文化祭において、調べた結果を地域の方にも発表し、意見をいただいた。



**5年生（総合）**  
**「東浅川の自然」**

東浅川の自然について川や里山の様子を調べまとめた。

自然史資料館や森林再生課の方を講師に招き、浅野川の様子を観察したり、実験をしたりすることで理解が深まった。



**6年生（総合）**  
**「お年寄りが暮らせる町に」**

地域のお年寄りの集まりである「浅川サロン」を訪問し、お年寄りが、どんな願いを持っているかを探ねたり交流したりすることで、それぞれのテーマについて考えた。

## 2 成果と課題

平成25年度にユネスコスクールに認定されて以来、ESDの視点を取り入れ、「生活科」「総合的な学習の時間」を中心に、東浅川の「人・もの・こと」と積極的に関わり、自分の目で実際に見たり、体験したりすることが定着しつつある。その学習を通して、地域の環境や伝統文化に対する子どもたちの関心・意欲は高まっている。

今後は、これらの学習を持続・発展させていくために、学習内容を精選したり、教科学習との関連を図ったりしながら、テーマに沿った学びを深めていきたい。